

「# コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」 ～スクールバンドを中心とした吹奏楽活動における感染対策～

(2020.7.31)

はじめに

相手が感染しておらずウイルスを持っていなければ、接触があっても感染リスクはありません。
しかしどんなに検査をしても、その時点で感染しているかどうかを正確に判定する方法はありません。
そのため常に自分が感染しているかもしれないという気持ちで振る舞うこと、自分が感染しないよう気を付けて過ごすことが最も重要な対策です。
誰かが感染していることがわかってもらってもそれはその人のせいではありません。なので責めてはいけません。

前提

感染対策を行っても「感染リスクを完全にゼロにする」ことはできません。
吹奏楽活動以外でも、日常生活の中には感染リスクはたくさん存在します。そんな状況下ですが、なるべく安心して吹奏楽活動を行うために、感染拡大を可能な限り防ぐ（感染者が出てそれ以上拡散させない）目的で、感染症専門医・感染管理認定看護師の指導に基づき対策案を作成しました。
今後、関連するガイドライン・マニュアルの改訂に併せて、必要に応じてアップデートしていきます。
特に「奏者間の距離」については、プロジェクトで実施している実験結果の発表後に更新を予定しています。

行動原則

体調がいつもと違う時は、休む（発熱・咳などがあつたら、隠さずに休む）
手洗い：共有物（みんなが触るもの）を触ったら、石鹸で手を洗うこと
顔を触らない：手を洗うまでの間は、顔（目・鼻・口）に触らないようにする
マスク：話をする時はマスクを着用すること、着用できなければ人との間の距離を離すこと
換気：部屋の換気を適切に行なってください

参考文献

「文科省マニュアル」

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」（2020.6.16 Ver.2）

https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_kouhou01-000007426_01.pdf

分類	No.	質問	回答
A. ミーティング、始めの集合	1	集合前に手洗いは必要でしょうか。	はい、流水と石鹸で手洗いをしてください。
A. ミーティング、始めの集合	2	歯磨きは必要でしょうか。	楽器演奏に必要ななら歯磨きをしてください。新型コロナウイルス感染症の対策としては必要とされていません。
A. ミーティング、始めの集合	3	集合場所で、アルコールなどを用意して手指を消毒する必要はありますか。	演奏前の集合時に手を洗って集合すると良いと思います。その他で手洗いが必要なタイミングは『別紙1：手洗いタイミング』を参照してください。 流水と石鹸で手洗いできるなら、アルコールの手指消毒は必要ではありません。もし手洗いが不十分な環境・状況であれば、アルコールを用意してもいいかもしれません。
A. ミーティング、始めの集合	4	ミーティングはどうしても「密」になってしまう可能性があります。同じ方向を向いてマスク着用であればある程度は大丈夫でしょうか。	授業を行なっているのと同じ状況（普通の教室・マスク・同一方向・無駄話しない）であれば、授業を超えるリスクは生じないと考えられます。具体的な基準が必要であれば「文科省マニュアル」をご参照ください。（P8:人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）あける） 換気についても「文科省マニュアル」をご確認ください。（P28：換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うようにします）
A. ミーティング、始めの集合	5	対面して話す場合は、どのくらい距離を取る必要があるのでしょうか。（2メートル？）マスク着用の場合は違いはありますか。	マスク着用していない場合、少なくとも1メートル、できれば2メートルあけることが望ましいです。 「文科省マニュアル」をご確認ください。（P8:人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）あける）
B. 準備・片付け	6	共有物（椅子・譜面台・メトロノーム・ハーモニーディレクターなど）を運んだり触る時に、気をつけることはありますか。	「複数の人が共有して触るもの」に触った後は手を洗うようにしましょう。（休憩に入るタイミング・練習終了時など）また、手を洗うまでの間には「顔（目・鼻・口の粘膜）を触らない」ことが大切です。
B. 準備・片付け	7	共有物を触ったり運んだりする都度都度で消毒することが必要でしょうか。ウェットティッシュ・洗剤でも大丈夫でしょうか。	触った都度で物を消毒する必要はありません。触った後（運搬、セッティング終了時などの区切りで）に手を洗う方が重要です。感染対策としては、複数の人が触るものは練習終了後に洗剤などで拭きましょう。（『別紙2：消毒方法について』を参照） 楽器本体・ティンパニの皮などは洗剤で拭いたり消毒できないのですが、それ以外を洗剤などで拭きましょう。（『別紙3：消毒した方がよいもの』を参照）
B. 準備・片付け	8	ハーモニーディレクターなど（指導用キーボード）は弾くたびにクロスで拭く程度で大丈夫でしょうか。ウェットティッシュ・洗剤・アルコールが必要でしょうか。	一人しか触らないなら、特に気にしなくていいです。 複数人が触る場合は「共有物」として扱って、6と同じく手洗いをすることが望ましいです。

分類	No.	質問	回答
B. 準備・片付け	9	片付けの時は、何をどこまで拭いたり消毒する必要がありますか。 椅子 拭く必要ある？ あるとしたらどこまで？ 譜面台 触ったところのみ？	譜面台が共有で複数の人が触る可能性があるのであれば、手が触る部分について洗剤などで拭くことが望ましいです。（『別紙2：消毒方法について』・『別紙3：消毒した方がよいもの』を参照） 触った後は手を洗ってください。 椅子：座面は拭かなくてもいいです。背もたれの上など、手で持つところを拭けば良いです。 譜面台：拭く場合でも、足は拭かなくてもいいです。物を置くところ、手が触れるところ（調整ネジなど）を拭けば良いです。
B. 準備・片付け	10	紙類（楽譜や教則本）を共有する時に、気をつけることはありますか。 消毒したり拭いたりするのが難しいと思います。	紙を消毒することは難しいです。個人専用なら問題ないですが、共有の紙（スコアなど）の場合は触った後に手を洗うようにしてください。
C. 練習中	11	管楽器のスワブの扱い。使ったものを譜面台にかけておいても大丈夫でしょうか。もしダメならどのような対策が必要でしょうか。（ジップロックなどにその都度しまう、など）	譜面台が「その練習中は個人専用（共有しない）」のであれば、スワブをそのまま置いても問題ありません。スワブを置いた場所は、練習終了後に自分で洗剤などで拭けば良いです。 スワブの扱いは個人専用として、他の人が触らないようにしましょう。 触ってしまったら手洗いしてください。
C. 練習中	12	リードやマウスピースの貸し借りは大丈夫でしょうか。基本的に「本人のみ使用」にすることが必要でしょうか。	感染対策としては「貸し借りなし（個人専用）」とすることが望ましいです。
C. 練習中	13	結露水の扱いについて教えてください。ペット吸水シートに吸わせれば大丈夫でしょうか。その後にシートを捨てる時の注意点があれば教えてください。	吸水シートは個人専用でも共有でも、触った後・捨てた後に手を洗えば、感染対策としては問題ないです。結露水をトレイなどで集める場合も同様です。トレイを洗う場合は洗剤を使用し洗浄後乾燥させてください。使う洗剤については『別紙2：消毒方法について』を参照してください。
C. 練習中	14	マウスピースだけで練習する場合は、ハンカチなどで覆うなどの対策が必要でしょうか。もし床に結露水が垂れたら、速やかに拭けば大丈夫でしょうか。	何かで覆う、周りに人がいなくて机などが無いところで練習すれば、大丈夫です。 教室など、机のそばで練習する場合は、飛沫が飛んだ可能性のある机などを拭いてください。（『別紙2：消毒方法について』を参照）
C. 練習中	15	打楽器の共用はどうすれば良いでしょうか。演奏中のスティック・マレット・ビーターの共有、タンバリン・トライアングル・カスタネット・シンバル（手革）なども曲中で奏者が入れ替わることがあります。楽器を複数用意できるとは限りませんので、どうしても共用で、他の人が触った楽器をそのまま使うことになります。	「共有物」と位置付けて、使った後は手を洗ってください。手を洗うまでの間には「顔（目・鼻・口の粘膜）を触らない」ことが大切です。
C. 練習中	16	吹奏楽でも「歌・踊り」が発生する場合があります。どのような対処が必要でしょうか。歌はマスク着用でOKでしょうか。	歌や踊りには飛沫が発生するリスクがあると考えられますが、「文科省マニュアル」のP36-37をご確認ください。 感染リスクの高い活動（音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱およびリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」など）について、地域の感染レベル（レベル1～レベル3）に応じた対処が記載されています。

分類	No.	質問	回答
C. 練習中	17	ラジオ体操やプレストレーニングを行う場合、マスクは必要でしょうか。 ・ラジオ体操 声出さなければ不必要？ ・集団プレストレーニング どのように行えばいいか。マスク着用だと吸いにくい。	体育の授業においてもマスクの着用は必要とされておらず、換気が良い場所・野外で行う・人と人の間隔を離すことで対応することが推奨されています。「文科省マニュアル」のP31,36-37をご参照ください。 P36に記載がある「感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動」については、地域の感染レベル別に基準が書かれています。
C. 練習中	18	除菌グッズはどのようなものを用意すればいいでしょうか。個人単位・パート単位・バンド全体で。	「個人での除菌グッズ準備」は必須ではありません。手を洗う環境を準備することのほうが大切です。 ①手洗い場に石鹸を準備する ②休憩時間は長めに取って「手洗い時間」を確保する ③セッティング後、食事前など手洗いを誘導 ④共有物を利用後に洗剤などで拭く（『別紙2：消毒方法について』を参照）
C. 練習中	19	接触・対面会話はどの程度OKでしょうか。考えられる状況は下記です。 ・初心者指導時に運指などを教える際、上から指を押さえる ・接近対面でアンブシュア（口元）チェック	手が触れる時は、その後に手を洗えば良いです。 2メートルより近くで飛沫を浴びる可能性がある指導は（口元の正面に近寄る、口元に触る）は、生徒の後ろに回る・実際吹く時2m離れて指導するなどの対処が必要です。指導者が生徒の顔に触れて指導を行う時は手洗いをして行なってください。
C. 練習中	20	個人対面レッスン時の注意点を教えてください。（相手との距離・マスクやフェイスシールドの着用など）	手が触れる時は、その後に手を洗えば良いです。 2メートルより近くで飛沫を浴びる可能性がある指導は（口元の正面に近寄る、口元に触る）は、生徒の後ろに回る・実際吹く時2m離れて指導するなどの対処が必要です。指導者が生徒の顔に触れて指導を行う時は手洗いをして行なってください。
C. 練習中	21	鉛筆など筆記用具を共有している場合の注意点を教えてください。拭けば大丈夫なのか、「個人専用」にするべきか。	個人専用にする場合は、消毒・洗剤拭きは必要ありません。 共有する場合は、練習終了後に洗剤で拭いてください。（『別紙3：消毒した方がよいもの』を参照）
C. 練習中	22	配置について、奏者間の距離はどの程度取れば良いでしょうか。	（飛沫実験結果が出た後に更新予定）
C. 練習中	23	合奏など、大人数で演奏する場合フェイスシールドは必須でしょうか。	フェイスシールドは飛沫から顔（目・鼻・口）を守るためのものです。そのため、 ・同じ方向を向いているのであれば、不要です。 ・奏者間に適切な間隔が確保できるのであれば、不要です。 ・プロオーケストラのガイドラインでも「フェイスシールドは必要」とはなっておらず、無しで演奏活動を再開しています。
D. 練習環境	24	全ての物を触る都度にいちいち消毒、は少し無理があるかと思います。	おっしゃる通りだと思います。そのため「なんでもかんでも消毒」ではなくて、触った後の手洗い、手洗いまでは顔を触らない、という対処が望ましいです。 物を消毒する場合は、練習終了後に洗剤で拭くという対処にしてください。

分類	No.	質問	回答
D. 練習環境	25	換気は必要だけど騒音クレームなどで窓が開けられない場合は、何か対処法はありますか。	「文科省マニュアル」に従い、換気を行なってください。(P28:換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する)、2方向の窓を同時に開けて行うようにします) なお扇風機・サーキュレーターを活用することで、効率よく換気を行うことが可能です。(参考: NHK 動画「より効果的な換気方法とは」 https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/special-program_0617/)
D. 練習環境	26	部屋の換気について、何か基準はありますか。(どのくらいの頻度で窓開ける・サーキュレータ設置など)	換気設備が整備されていて、基準(30立方メートル/人・時)を満たしていることが望ましいです。(https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000616069.pdf) 学校施設においては「文科省マニュアル」をご参照ください。(P28:換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する)、2方向の窓を同時に開けて行うようにします)
D. 練習環境	27	床や壁が吸音目的でカーペットになっている場合、どのような衛生管理が必要でしょうか。(掃除機・粘着ローラーでの埃取り・除菌剤散布)	一般に床・壁は「清潔では無い」ので、普段行なっている清掃で対応すれば良いと考えます。触ったら手を洗う、楽器のマウスピースを床に接触させない、お弁当など飲食物を床に置かないようにしましょう。
D. 練習環境	28	楽器庫、準備室、部室などへの入室時はどうしても「密」になってしまう可能性が高いです。人数制限の必要はありますか。「マスク着用で必要以上におしゃべりしない」などの対策で大丈夫でしょうか。	短時間の場合、マスクをして話さなければ問題ないと考えます。一般に、人が集まってしまうとどうしても話してしまうので、それを防止するためには時間を分けて人数制限、が望ましいです。 「文科省マニュアル」をご参照ください。(P39:部室などの利用については、短時間の利用とし一斉に利用することは避けること)
D. 練習環境	29	ドアノブは「消毒」が必要でしょうか。必要だとしたら、どのくらいの頻度でしょうか。(触るたび・一定時間ごと)	ドアノブは「清潔では無い」ので、触れたら「手を洗う」「顔を触らない」ことが望ましいです。可能であれば、ドアノブに触る回数を減らす工夫も良いかもしれません。(ドアストッパーで開放する、ドアノブを握るタイプからバータイプに変えるなど)
E. 合宿・遠征	30	大人数で集まって食事する時に、注意することはありますか。	通常の学校給食と同じ扱いで良いかと思えます。 「文科省マニュアル」をご参照ください。(P39-40:食事前の手洗い、飛沫を飛ばさないようにする(机を向かい合わせにしない・会話を控える))
E. 合宿・遠征	31	お弁当の容器などの処理で、気をつけることはありますか。	他の人のお弁当の容器などに触れた時は手を洗いましょう。そのほかは通常通りの扱いで大丈夫です。
E. 合宿・遠征	32	移動のバス内・電車内で気をつけることはありますか。	公共交通機関利用と同程度の注意をしていれば良いと思えます。(マスク着用・なるべく話さない)
F. 演奏会・大会等当日	33	会場への行き来で整列して移動しても大丈夫でしょうか。一定の間隔をあけることが必要でしょうか。	マスク着用していない場合、少なくとも1メートル、できれば2メートルあけることが望ましいです。 「文科省マニュアル」をご確認ください。(P8:人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)あける)

分類	No.	質問	回答
F.演奏会・大会等当日	34	楽器の積み下ろしでは他の人の楽器もどんどん運んでしまいます。大丈夫でしょうか。ケースの持ち手経由で感染したりしないでしょうか。	扱った後（搬入搬出後）に手を洗えば、問題ないです。
F.演奏会・大会等当日	35	楽器の組み立ても、同じパート員が他の人の楽器も出すのが一般的です。必ず本人じゃないとダメでしょうか。	「自分の楽器は自分で組み立てる」方が望ましいです。もし他の人の楽器を組み立てる場合は、組み立て前・後に手を洗うことが必要です。
F.演奏会・大会等当日	36	待機場所・楽器置き場がどうしても「密」になってしまいます。大丈夫でしょうか。	会場の換気条件に基づいて、その場に入れる人数を運営側が決めることが望ましいです。あとは「手洗いの実施」「演奏していない時にマスク着用」の対策を追加することが必要です。
F.演奏会・大会等当日	37	チューニング室・本番ステージへの誘導路で整列して移動しても大丈夫でしょうか。一定の間隔をあけることが必要でしょうか。	マスク着用していない場合、少なくとも1メートル、できれば2メートルあけることが望ましいです。 「文科省マニュアル」をご確認ください。（P8:人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）あける）
F.演奏会・大会等当日	38	チューニング室やリハーサル室で感染してしまわないかが不安です。（換気悪い、狭い、密、結露水の扱いなど）	会場の換気条件に基づいて、その場に入れる人数を運営側が決めることが望ましいです。あとは「手洗いの実施」「演奏していない時にマスク着用」の対策を追加することが必要です。
F.演奏会・大会等当日	39	舞台袖で待機する時、セッティング要員の楽器は他の人が持って待つことが一般的ですが、大丈夫でしょうか。	口が触れる部分（リード・マウスピース）に触れないようにしましょう。手を洗うまでの間には「顔（目・鼻・口の粘膜）を触らない」ことが大事です。
F.演奏会・大会等当日	40	舞台セッティングを短時間で行う必要があります。その時に打楽器要員は担当打楽器を運んだ後に自分の席へ移動、誰かが持ってきてくれた自分の楽器を持って演奏に入ります。他の人が触って運搬・セッティングした楽器を直後に使ってしまっても大丈夫でしょうか。	口が触れる部分（リード・マウスピース）に触れないようにしましょう。手を洗うまでの間には「顔（目・鼻・口の粘膜）を触らない」ことが大事です。
F.演奏会・大会等当日	41	終演後の写真撮影で気をつけることはありますでしょうか。どうしても「密」になってしまいますし、終演後のテンションで声も出しています。	マスクを外して近くで話すリスクがあります。写真を撮る時だけ外し、声を出さないようにして、撮り終わったらマスクをしましょう。
F.演奏会・大会等当日	42	表彰式や閉会式で、声を出して喜んで良いでしょうか。	マスクを外して近くで話す、大きな声を出すことは、飛沫が飛ぶリスクがあります。握手・ハグ（抱き合うこと）でも、接触による感染リスクがあります。

作成者：

塚田 訓久（日本感染症学会感染症専門医・指導医）

縣 智香子（東京都看護協会 新型コロナ対策プロジェクト アドバイザー、NTT 東日本関東病院 感染対策推進室 感染管理認定看護師）

縣 和平（コンサルタント）

甘粕 宏和（バンドディレクター）

別紙1：学校の吹奏楽活動における手洗いが必要なタイミング

練習場に集合する時

食事の前

トイレの後

唾液に触れた後（結露水の吸水シートを捨てた後）

顔（目、鼻、口）に触れる前

複数の人がさわる可能性がある場所に触れた後：

セッティング終了時（椅子並べ、譜面台並べ、パーカッションセッティング）

楽器搬入・搬出作業の終了後

練習後の片付け後

別紙 2：消毒方法について

よく手が触れる部分の消毒については、界面活性剤を含む家庭用洗剤を用いた拭き取りで問題ありません。

具体的な家庭用洗剤一覧（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

<https://www.nite.go.jp/data/000113045.pdf>

家庭用洗剤による消毒方法（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0522_poster.pdf

「文科省マニュアル」における消毒の記載（P19-21）

③消毒 1）日常的な消毒について

一部の界面活性剤で新型コロナウイルスに対する有効性が示されており、それらの成分を含む家庭用洗剤を用いることも有効です。

別紙3：消毒した方が良いもの（吹奏楽活動において）

- ・練習場 1日1回 練習終了後に下記の部分を消毒してください。

譜面台（手が触れる部分：譜面を置く場所、ネジ）

練習場で使う机の上

ドアノブ、スイッチ

その他、みんなの手が触れる場所・もの：

共用筆記具、メトロノーム

（サビや故障が心配だったら、楽器と同じ扱いにして消毒はしないでください。その代わりに触った後手を洗ってください）

- ・楽器

楽器本体は消毒できないので、拭く必要はありません

マウスピースなどを共有する場合は、洗剤（ブラスソープなど）で洗ってください。

- ・リード

他の人が吹いたリードをすぐに吹いてしまうと、感染リスクがあります。（対策は検討が必要）